

(仮称) 未来 (あした) をつかむ東京オリンピック・パラリンピック  
藤沢市誘致・支援委員会平成26年度第1回会議 議事録

日時 : 2014年(平成26年)4月17日(木)  
午前11時~12時10分  
場所 : 藤沢商工会館(ミナパーク)2階議員役員会議室  
司会進行: 竹村企画政策部長

○司会進行挨拶

○鈴木市長挨拶

お忙しいなかお集まりいただき、誠にありがとうございます。東京オリンピック・パラリンピックにつきましては6年後の開催が決定しております。2月7日にお集まり頂き、意見交換をしていただき、積極的に支援をしていくことが決まりました。

本日は正式なスタートとして第1回目の会議となります。現在は情報収集の段階ですが、藤沢が元気になることを大事にしながら、皆様との意見交換をはかり、支援をいただきたい。平成26年度の市政運営方針は「魅力・活力・創造力」であり、「郷土愛あふれる藤沢」を作るために皆様方とのパートナーシップを大切に進めていきたいと思っております。2020年は市制施行80年となります。藤沢の「人の和」を広げ、また「魅力・活力・創造力」に富んだ取り組みとして、支援の輪を広げていきたい。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

○委員の紹介

自己紹介形式にて、委員の紹介を行った。

○委員会の設置について(司会: 竹村企画政策部長)

2月7日の会議で誘致・支援委員を立ち上げることを決定し、誘致・支援活動を進めることとし、この委員会の規約等は次回以降内容を検討させていただくとして、今回は設立趣意書(案)を用意しました。

○設立趣意書(案)について(事務局: 臼井課長補佐)

設立趣意書(別紙のとおり)

○司会

設立者の湘南振興財団は公益が正しい。また、薬剤師会は一般が正しい。お詫びして訂正させていただきます。設立趣意書を確認していただき、このメンバーで構成していきたい。次回以降規約を整理し、委員長を選出もしていくこととしたい。

○協議誘致等の現状（事務局より説明）

●資料3について、2月7日の会議のあと、今後支援委員会を立ち上げることの記者発表資料。資料4については、この組織に先立って庁内組織を立ち上げ、行政として何ができるか等をこれまで3回程開催し、情報共有してきた。

取り組み方によっては、費用がかなりかかることもあり得る。

●資料4について

世界陸上の北京大会が開催されるが、この事前キャンプ等の実績があるとオリンピック誘致に非常に有利となる。陸上競技であれば、8月を目途に準備していくとその後のキャンプ誘致がスムーズとなる。

●近畿日本ツーリストの説明

事前キャンプの誘致については、信頼・実績があることが有利。2020東京大会は会場に近いという最大のメリットがある。県東は地の利が有利。誘致の規模という面からは、会場の規模と同規模であるということよりも、選手の周辺の環境、言葉での不便がない、無線LANが整備されている、個室の洋室というようなものが重要となる。

近畿日本ツーリストによれば、ロビー活動として藤沢市を売り込みにいくのであれば、1億円は必要となるのではないかと。全部の資金をこの委員会で負担という意味ではない。

○司会

ここで、途中だが、事務局として市の部長を紹介したい。

～部長の紹介～

渡部市民自治部長、坂本保健医療部長、武田経済部長、平岩こども青少年部長、片山福祉事務所長（福祉部長代理）

○種目について（事務局より）

藤沢市が手を挙げている種目の確認、セーリングとビーチバレーの2種目。まずはこの2種目に絞っているが、これについてこれで良いか。例えば、セーリングについては、協議会場は東京都の若洲。大会そのものがコンパクト開催をうたっており、競技会場はこの若洲となる。この事前キャンプ等を誘致することで、観光・地域経済の活性化、スポーツの活性化等をはかっていきたい。この2020年の大会終了後も例えば江の島に引き続き人々が訪れてもらうことができるような支援や誘致活動をしていきたい。

○質疑

●体育協会会長

藤沢市の宿泊施設について。不足していると思われるが、藤沢市内での宿泊ができない

という状況であると、誘致の声の上げ方が弱くなってしまふことが懸念される。

→神奈川県内にある宿泊施設を今後リスト化していく。宿泊施設については、近隣にもあるので、市内にこだわらなくても今後の整理のあり方により広域連携も含め考えていきたい。(司会)

●藤沢商工会議所会頭

かながわ女性センターの今後について

県がこの施設を廃止する。宿泊施設や、歌舞伎等を開催したり色々と利用していきたい。この施設の廃止後の利用等については市としてどのように考えているか。

→過去の取り決め等に基づき県と調整している。現段階では具体的な内容を話すことができないが、今後も引き続き県と協議していく。(事務局)

●藤沢商工会議所会頭

一旦、行政が民間に手放すと今後一切行政としての利用はできない。

→宿泊施設等として県にも協力を求めている。市が買うか買わないではなく、できるだけ公共性の高い、藤沢のためになる施設としてのあり方を要望している(司会)

●藤沢市社会福祉協議会会長

交通マスタープラン、アクションプランは3月にできたばかり。駅まで徒歩でということや、ユニバーサルタクシーを増やす等の取り組みが書かれている。新年度のアクションプランにオリンピックまでの期間に何をしていくかという取り組みを考える際に、誘致支援活動にあわせたインフラ整備の優先順位をつけてほしい。

→例えば江ノ島でセーリング等開催されると、弁天橋の渋滞等も問題となる。関係部局とも協議して進めていきたい。(司会)

○質疑 この2種目以外に誘致したい等のご意見があるかどうか。(司会)

●藤沢市体育協会会長

サッカーも呼びたい。障害者のアンパティサッカー(松葉杖サッカー)も呼びたい。善行の県立体育センター元々藤沢から県へ引き渡した施設。サッカー誘致をしたときに、場所がない。秋葉台は人工芝だが、場所が狭い大庭の遊水池も少ない。協会としてもサッカーは呼びたいが場所がないという状況である。

→体育センターについて。今年度、整備をする。陸上競技についてはそう聞いている。また、セーリングについては、ノルウエーのフレンドシップ大会も実施する。夏のインターハイは、フェンシングを体育センターで実施。秋には、中学のバレーの大会が行われる。(秋葉台と体育センター)(鈴木市長)

○司会

今後にスケジュールについて

シティプロモーションの会議のあと、この会議を開催する。規約について、後日整理する。また、6月に発足式とあわせて記念フォーラムを開催したいと思っている。選手がオンシーズンのため、添田氏（テニス）、山下氏（柔道）宮川麻都（女子サッカー）声をかけている。他にどなたかいればお声かけをお願いしたい。

また、セーリング、ビーチバレー協会との打ち合わせ内容等、更に皆様にお知らせしていきたい。

●藤沢市歯科医師会会長

キャンプ場、事前の練習場としてどのくらいの収容施設が必要で、宿泊施設等、海外の事例だと思うが、もし情報が得られれば収集を。

→選手の安全管理等も含め情報を収集し提供していきたい。（司会）

○司会

以上をもちまして、仮称をとらせていただき、未来（あした）をつかむ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市誘致・支援委員会を終了します。ありがとうございました。

閉 会